



まちのシンボル「ひと・まち・ゆめ」

わが町

志津南

NEWS

志津南ホームページ
http://waka-kusa.net/

発行
志津南地区自治連合会

連絡先
志津南市民センター (563-6206)

まち協会則案決まる

11日に住民説明会開催

まちづくり協議会設立準備会(粕谷利光委員長)は11月19日、第6回準備会を開催、住民6人・3団体から提出された会則の制定案に対する意見について審議しました。審議はかんかんがくがく、長時間に及びましたが、会則は成案を得ました。

準備会はその後、「会則等に関する意見と見解」および「会則(案)」を事前に全戸配布した上で、12月11日に住民説明会を開催、住民の理解と協力を要請しました。

これまでに自治連合会では、社会福祉協議会、体育振興会、老

自治連の広報紙「わが町志津南NEWS」が今月号で創刊100号を迎えました。



平成15年9月1日発行の志津南ニュース創刊号

人クラブ、子ども会などのさまざまな団体は、その代表者が評議員として総会に出席するだけで、一体となって活動を進める仕組みにはなっておらず、個別にそれぞれの目的に沿って活動

していました。まちづくり協議会は、自治連合会に代わって、町内会はじめさまざまな団体の活動を有機的・効率的・効果的に進める仕組みをもった、住民主体の自治組織です。このことを十分ご理解いただき、住民のみならずのご協力とご参画をお願いします。

「ふれあいハウス」のスタッフ募集

志津南地区社協は、平成24年2月1日を目標に若草第六集会所を二手直しし「ふれあいハウス」見取図を開設します。このため、1階のバリアフリー化はじめウッドデッキ等も備え

たオープンな雰囲気改修し、高齢者の日常生活支援、住民同士のふれあいや地域ぐるみの子育て支援などを行う「地域支援合い活動」の拠点とする考えです。

活を明らかにしたあと、よりよい地域づくりを進めていくためには、透明性の高い情報を開示し、住民と情報を共有していくことの必要性を強調、広報紙発

らの申し入れにより、同大学メディア専攻学生にフィールドワークの場を提供、夏まつりの取材など学生たちの広報紙参加活動を通して地域社会との連携を

「志津南ニュース」創刊100号に寄せて

自治連会長 中原 勝一

行を「志津南地区の情報元年」と位置づけました。

進めるなど、新しい実験も試み一定の成果をあげました。

その後、発行日が1日から15日に変更されましたが、地区の動きやイベント、各種団体の動向などをきめ細かく紙面化してきました。さらには龍谷大学か

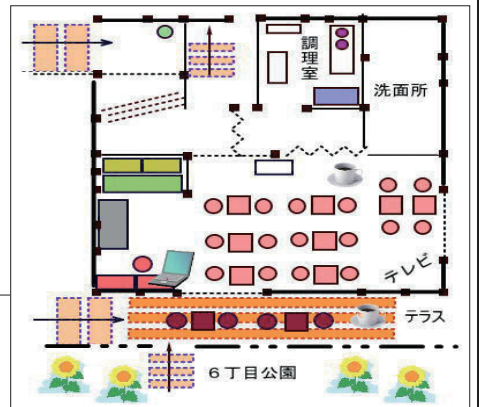
志津南のホームページには、創刊号から現在までの紙面がすべて収録されています。創刊号は8ページ。すべてカラーで、2面には「志津南学区の再編」

第2号号以降は、予算の関係で紙面はモノクロに。それも今年4月号からはカラー紙面に変わり、一段と見栄えがよくなりました。

市民センターの
年末年始休館
志津南市民センター(公民館)は、平成23年12月29日(木)から平成24年1月3日(火)まで休館します。

お問い合わせは、志津南社会福祉協議会各町の福祉委員、福祉部長さんまでご連絡下さい。

ふれあいハウス完成見取り図



「ふれあいハウス」は、1階に、地域で高齢者・障害者を支援していくための事務所、住民交流のための「ふれあい喫茶室」を設け、2階には多世代交流を支援するために、おもちゃや絵本を用意した子どもコーナー、ソ

また社協では「助けたり、助けられたり」が当たり前のまちづくりを進めるため、活動に協力していただけるスタッフを募集しています。1人でも多くの方が自分のできることで、出来る時間に、ボランティアとして協力参加して下さいますようお願いいたします。

内容一新しスポーツデー

新メニューのウォーキングに楽しそうな参加者



ケビンゴ、囲碁ボール、フリーピンポンの6種目。役員の指導を受けながら初めて体験するスポーツを楽しみました。

志津南小体育館で行われた町内対抗ペタンク大会は、初参加が多かったものの、だんだんコツをつかみ、「あの玉をどぼすといいな」などと楽しそうでした。午後からの町内対抗ティスコン大会では、各町内2チームで志津南リーグ(小学生以上)と牟礼山リーグ(小

学生)に分かれて熱戦を展開。あちこちで歓声が上がっていました。

町内対抗の成績は次の通り。

- ◇ペタンク大会
- 優勝 4丁目
- 準優勝 8丁目
- 第3位 3丁目
- ◇ティスコン大会
- 牟礼山リーグ(中学生以上)
- 優勝 岡本町西
- 準優勝 3丁目
- 第3位 7丁目
- 志津南リーグ(小学生)
- 優勝 6丁目
- 準優勝 岡本町西
- 第3位 4丁目

ふれあいバスツアー、

秋の琵琶湖畔へ

高齢化に伴うけがのリスクを避け、またより多くの住民に参加してもらえよう、新しくウォーキング、ニュースポーツスタンラリーを加え、ペタンク、ティスコンなどを実施しました。

ボランティアグループ泉(藤田清子代表、12人)は11月18日、高齢者とのふれあいバスツアーを実施、琵琶湖畔へ出かけました。

晩秋にしては気温もまずまずのこの日、参加者35人がバスで紅葉の瀬田川沿いを走り、大津プリンスホテルに。

36階のワイドなガラス越しに薄い雲の服を着た幻想的な比叡山・比良連峰を眺めながら昼食。午後はバスの窓からびわこ花噴水を見ながら大津びわ湖館インクラッシュガーデンへ写真。



秋の一斉清掃



志津南地区の秋の一斉清掃が11月27日に行われました。写真。

午前8時30分、参加者約780人が清掃道具を手に最寄りの公園に集合、10時前には19カ所の集積場は刈り草や落ち葉が大きな山を築きました。残念ながら落ち葉は八分程度、集めた後からあとから枯れ葉がばらばらと、せつかく清掃した路面に舞い落ちていました。(福利環境部)

教養文化講座

古今東西が終了

市民センターの教養文化講座「古今東西」近江の伝統産業今昔」が終了しました。

10月25日の第2回は和ろうそくと高島扇骨の見学。近江今津の和ろうそく店「大興」で、希少な原料の燻(はぜ)ろうそくを手作業で芯に巻く手掛けや着色などを、「道の駅藤樹の里あどが

わ、「鈴木扇子店」では、扇子業界の話聞き、職人の技を見学。

最終の11月9日の第3回は信楽焼。「信楽窯業技術試験場」で陶土の採掘から焼成を見学。高橋春齋先生の陶房では、手造りの湯呑でお茶をいただき、美しい火色に自然釉の壺や茶器を鑑賞。「英山窯窯照庵」でろくろの体験後、「窯元散策路」で登り窯や窯元を見学、「県立陶芸の森」で信楽の名言町民、岡本太郎の作品を鑑賞して締め括りました。

民児協交流会



志津南地区民生委員児童委員協議会(松本会長)はこのほど、かねてから希望していた青山区民生委員児童委員協議会(砂崎会長)との交流会を青山区市民センターで開催しました。写真。

同じグリーンヒルの住宅団地としてスタートした両地域は、道路一つ隔てて草津市・大津市と行政が分かれています。共通の課題について意見交換する場を設けることにしたものです。この日は自己紹介、担当区域、地区の概要と取り組み、そして課題について意見交換しました。志津南地区は高齢化、少子化と向き合っているのに対し、青山区は一部高齢化はあるものの、若い世代の同居に伴い乳幼児を含め子どもが増加が著しく、施設面をはじめ大規模化している小中学校などの課題が多いとのことでした。

こうした中で民生委員児童委員は高齢者、子育て、個別支援と多岐にわたる広範囲な活動を展開しており、意見交換の場として、今後も継続していくことを確認しました。

左義長は1月15日に

志津南地区自治連合会は、恒例の左義長を平成24年1月15日(土)午前9時30分から11時まで、若草中央児童公園で行います。

お正月のお飾りや、お札類、お子さんの書初めなどを焼きます。ぜひご参加ください。ただ、お飾りのみかんやヒール袋、一般ごみなどは持ち込まないようお願いします。

2011年わか町10大ニュース

- ①まちづくり協議会設立準備会が発足（2月）
6日、市が目指す新しい住民自治組織「まちづくり協議会」の準備会第1回会合が開かれ、準備会委員長に粕谷自治連会長を選出した。
- ②ごみ分別区分変更で戸惑い（10月）
1日からごみの出し方が変更され、分別の仕方や収集日が変わったりして積み残しが増えるなど、住民に戸惑いが広がった。
- ③アナログテレビ、2015年までOKに（5月）
今年7月24日で放送が打ち切られたアナログ放送は、グリーンヒル内ではZTVが地デジ放送をアナログに変換、2015年3月まで受信可能に。
- ④木炭窯遺跡の撤去始まる（11月）
市民センター前の木炭窯（野路遺跡出土）の撤去が今月から始まった。作業は12月中に完了する予定で、その後、跡地利用について協議に入る。
- ⑤社協アンケート、72歳が近所の関わり望む（3月）
志津南社会福祉協議会が60歳以上全員を対象に、高齢者の生活実態を把握するために実施、隣近所との関わりを望む声が72歳で最も高かった。
- ⑥社協、福祉委員制度を創設（4月）
志津南地区社会福祉協議会は17日に総会を開催、見守り活動の担い手として福祉委員制度を導入した。また新会長に小野榮祐さんを選出した。
- ⑦JR南草津駅に新快速停車（3月）
一昨年12月に市と周辺自治会でつくる新快速停車促進期成同盟の要望を受け、JR西日本が同月17日に停車を発表。3月12日から実施。
- ⑧23年度自治連会長に中原勝一さん（4月）
自治連23年度総会が27日開かれ、新会長に若草6丁目の中原勝一さんを選出。同時に23年度予算、同事業計画を承認した。
- ⑨「がんばろう日本」合言葉に夏まつり（7月）
「がんばろう日本」をスローガンに第14回志津南ふれあい夏まつりが23日、中央公園で開催された。群読やちびっ子浴衣ショーなど新趣向も。
- ⑩立命館大で春季総合消防訓練実施（2月）
湖南広域消防局が28日、同大学キャンパスで総合消防訓練を実施、大学や志津南自治連など周辺自治会関係者約220人が参加した。



志津南地区社会福祉協議会主催の恒例のグラウンドゴルフ大会が11月12日、若草中央児童公園で行われました。写真

ホールインワンに大歓声

社協G ゴルフ

この日は前日の雨も上がって晴天に恵まれ、総勢72人が参加盛大な大会となりました。小野榮祐社協会長のあいさつに続き、競技ルール説明のあと、12チームに分かれ競技開始。秋色包まれたグラウンドで熱戦を展開、ホールインワンの歓声や落胆の悲鳴が入り乱れていました。

成績は次の通りです。

- ◇団体戦
- 優勝 4丁目
 - 二位 3丁目
 - 三位 2丁目

- ◇個人戦
- 優勝 木村信子（8丁目）
 - 二位 中村賢次（3丁目）
 - 三位 原田絹代（4丁目）
 - 四位 中野 操（2丁目）
 - 五位 秋山謙二（1丁目）

子ども会が工作あそび

子ども会は、芸術の秋ということで11月20日、志津南小学校体育館で工作あそびをしました。

指導にあたったのは「絵画造形教室アトリエおれんじ」を主宰する増田有貴さん。増田さんは「他の人の作品のことは気にせず、自分に自信を



コルク板に木の枝やドングリを貼り付ける子どもたち

持って、自分の思うように作って下さい」とアドバイス。参加した24人の子どもたちは、まずコルクの板に木の枝やドングリをボンドで貼り付け、思い思いの額を作りました。

このあと、増田さんの用意した葉のついた大根や人参、柿

やキウイ、バラの花などのモチーフから好きなものを選んで絵を描き、自作のコルクの額に張り込みました。増田さんの「モチーフをよく観察すると色んな形や色が見えてくるよ」の言葉を受け、子どもたちは一生懸命取り組み、ひとつ、ひとつ個性豊かな素敵な作品を完成させました。

公民館で清掃と消防訓練

志津南市民センター（公民館）の一斉清掃と消防訓練が11月18日、行われました。

公民館を利用するサークルや地域の団体が、日頃は手の届かない隅々まで清掃、館内外がすっきりしました。引き続き、消防署の指導で避難訓練を行いました。給湯室からの火災発生を想定して全員が駐車場に避難し

サロンにツリー



市民センターサロンにお目見えしたやさしき学級性が飾りつけたクリスマスツリー

たところで、順に水消火器で消火訓練を行ったあと、AED講習で、人命救助の基礎を学習しました。

ロクハで5年生リーダー研修



志津南地区子ども会は11月3日、ロクハ公園デイキャンプの森で「5年生リーダー研修」を行いました。写真

参加した子どもたち6人は研修に必要な買い物をした後、ロクハ公園へ自転車で向かい、薪割りや火おこし。食材を調理し、飯台でごはんを炊いてカレーを作りました。

子どもたちにとって、さまざまなことが初めてにもかかわらず、活動指導員の方からは「すべてうまくいきました」とおほめの言葉を頂き、けがや失敗のない、天気にも恵まれた有意義な一日となりました。来年の5年生もぜひ参加してください。



- 12月16日(金)～18日(日)
 - ★ふれあい文化祭・作品展示
 - 16日 13:00～17:15
 - 17日 9:00～21:00
 - 18日 9:00～正午
 - ☆ふれあい喫茶「お茶の間」
 - 10:00～12:00
 - 若草第五集会所
- 12月17日(土)
 - ★ふれあい文化祭・発表会
 - 9:00～21:00
 - ☆健康ウォーキング
 - 8:45 若草中央公園集合
- 12月18日(日)
 - ★ふれあい歌の会
 - 9:30～正午
- 12月21日(水)
 - ★やすらぎ学級
 - 13:30～17:00
- 12月24日(土)
 - ☆社会奉仕
 - 8:30 若草中央公園集合
- 1月5日(木)
 - ★子ども会書き初め大会
 - 9:00～正午
 - ★子ども会書き初め展示会
 - 1月5日～20日 15:00まで
- 1月7日(土)
 - ☆健康ウォーキング
 - 8:45 若草中央公園集合
- 1月13日(金)
 - ☆ふれあい喫茶(お茶の間)
 - 10:00～11:00
 - 若草第五集会所
- 1月15日(日)
 - ☆左義長
 - 9:30～11:00 若草中央公園

★印の会場は志津南市民センター(公民館)です

わんぱくが古代のワザに挑戦



今回は、製鉄所のあった場所や鉄の精錬方法を館内の展示物で学んだのち、五寸釘から作るペーパーナイフと摩擦熱による古代の火起こしに挑戦しました。ペーパーナイフ作りでは、釘を七輪で熱し、赤くなったところ

ろで、ハンマーで叩いて平らにします。

出来上がったペーパーナイフの型はブロックの砥石で研いで仕上げました。また火起こしでは、大人と協力しながら、軸を回し火を起こしました。古代の人たちの知恵と技が体験できた館外研修でした。

パソコンでアルバムづくり



市民センターの教養文化講座が11月16、17日の2日間開催さ

れ、若草在住の吉田知津子さんの指導でパソコンを使ったミニアルバムを作りました。写真、初日はワードの基本操作と応用、2日目は午前、午後通してワードを使って、ミニアルバム作り。受講生が事前に用意した昔の写真や旅行の写真をデジタル化し、コメントを入れてミニアルバムに仕上げました。参加者は「パソコンで簡単に楽しいアルバムが作れるなんて家族にミニアルバムを作ってあげるわ」と喜んでいました。

16日から ふれあい文化祭

「志津南ふれあい文化祭」が12月16日から3日間、市民センターで開催されます。

- ▼12月16日(金) 13時～17時15分
- 17日(土) 9時～21時
- 18日(日) 9時～正午

サロンで手芸、工芸、書道などの作品展示

12月17日(土)

- 第一部9時～12時。会議室で運動系「ときめき発表会」
- 第二部13時～17時30分。会議室で文化系「ときめき発表会」
- 第三部19時～21時。会議室で「ダンスパーティー」

自然派カフェ、調理室10～16時 詳しくは、広報くさつ12月1日号配布時の「案内ちらし」をご覧ください。

折々の記

そこそこ長い人生を過ごしていると悲喜こもごもの出会いやめぐり合わせ、また思いがけないことなどを体験するものですね。

ずっと以前、母と私にとってささやかなことながら、忘れられない思い出があります。それはNHK人気ラジオ番組の【ラジオ深夜便】という多くのファンを持つ長寿番組にかかわることです。

不思議な縁

半年ぶりに遠方の実家に泊まった夜半、隣室から大声で私を呼ぶ母の声。もしや急病？でもとびっくりして飛び起きた私に母は「これから私の投稿が読まれる」と興奮気味。「眠れない夜、ソフトな男性アナウンサーの語り口、懐かしい音楽にとっても癒されている」と感謝の気持ちを初めて書き送ったとか。数分でも気づかずにいたら聞くことはなかった投稿。深夜、母と私はボリウムを上げラジオを前に正座？して聞きましたが「まさか読んでもらえるなんて」と感激する母と明け方まで話し込みました。

早速、母は「夜長の灯消してラジオの深夜便」なんて句を詠みました。そんな晴耕雨読ならぬ晴読雨読の俳句好きな母も91歳を数え随分弱ってしまいました。

そして人生は10年を節目に何かがある、とはよく言ったもので、最近、私の手元に県視覚障害者センターから1冊の本が届きました。先の「ラジオ深夜便・季語で日本語を旅する総集編」の点訳依頼でした。書店には山ほどの出版本があるのに「なぜこの本が私に」とびっくりしました。

またこの地に 移り住んで間もない頃で不安な日々を過ごしていたある小雨の朝、玄関前で通りがかりの女性に「朝からびりびり(小雨の降り方) 降りますなあ」と親しくあいさつ代わりに声をかけられ、「え？」と思わず聞き返しました。あまりにも懐かしい故郷(ふるさと)言葉に、ひと時心安らいたことと併せ、不思議な縁を忘れることができせん。

(若草在住24年 K・K)